

潮流

10月～12月のメモ

活動メモ
機関誌・紙／自主流通誌・紙
新刊書籍

構成 編集部

12. 中央大学アナキズム研究会結成される。(東京)

活動メモ

機関誌・紙／自主流通誌・紙

10月

▽リベロー 34号(リベロー社 京都市左京区田中門前町28-5) 全国連盟の可能性を求めて・第2回連帯集会報告

▽だらしね・2 1号(だらしね舎新社 堺市向陵中町1-3-8 堺市民組合内)

▽堺市民組合への誘い

▽リベルテール 10月号(リベルテールの会 練馬区大泉学園町2-1-90 萩原方)

▽労働運動 12号(富士地区一般産業合同労組)

富士市伝法中町2719) 定着への第

三步・第22年度定期大会報告

▽虚構解体 18(同編集委員会 練馬区上

石神井1-4-98 福富方) 法廷から

▽れんげ通信 1号(大江音人 宇治市宇

治蓮華95) 伊勢と遷官について

▽サルトン 185号(向井孝 大阪市

阿倍野区旭町2-12-2)

▽海燕 7号(海燕書房 千代田区内神田

1-4-6) アナキズムと暴力

▽黒旗の下に 7号(文京区後楽2-7-1

5) 日本自協史(七)

▽月刊協団体 132号(日本協団体協会

栃木県今市市栄町2083)

▽生活者 42号(加藤彰彦 横浜市戸塚区

田谷町1-9-31) 太陽の伝説・42

▽新左翼 232-233-234号(新左翼社

大阪市北区池田町21安田ビル)

▽関西地方準備会ニュース 8号(無政府

主義者連盟関西地方準備会 京都市東山

区山科北花山六反田町26-18 晴栄荘内

奥田気付) 第2回全国無政府主義者連

帯会議報告・基調報告

▽こみゆん・神戸共同文庫会報4号(神

戸市葺合区上筒井通6-2-13)

▽かわら版 10月号(京都市左京区岩倉木

野町1-3-7 京都精華短大 片桐研究室)

▽非暴力直接行動 9号(WRI日本部

姫路市亀山3-5-4) WRI15回大会に

席して

▽月刊市政研 135号(豊田市政研究会

豊田市官上町2-20 B-36 渡久地政司)

11月

▽関西地方準備会ニュース 9号(同準備

会 京都 総括から展望へ・実践環の開

明のために

▽処女地帯 61号(北方自由詩人集団 秋

田市太平八田 北本哲三)

▽同時代人 3号(同時代人社 青森市勝

田2-23-11地主気付)

- ▽生活者 43号(加藤彰彦 神奈川)
- ▽リベルテール 11月号(リベルテールの会 東京)「売買」という名の強奪
- ▽サルートン 186号(向井孝 大阪)
- ▽非暴力直接行動は無力か・上
- ▽リベロー 35号(リベロー社 京都)
- ▽ふたたびベトナムの解放とわれわれ
- ▽月刊協同体 133号(日本協同体協会 栃木) S C I センターと金峰高原牧場
- ▽モテック通信 20号(同編集部 新宿区 新宿2-4-9 模索舎気付)
- ▽むくげ通信 33号(むくげの会 神戸市 垂水区多聞台3-10-25-201 飛田方)
- ▽公害を逃すな 22号(富山化学の公害輸出をやめさせる実行委員会 文京区白山 1-37-9 自主講座分室内)
- ▽新左翼 235-237号(新左翼社 大阪)
- ▽かわら版 11月号(片桐ユズル 京都)
- ▽月刊市政研 136号(豊田市政研 豊田市) 合成洗剤の恐さを知って下さい
- ▽非暴力直接行動 10号(W R I ・日本部 姫路) 平和のための囚人
- ▽サルートン 187号(向井孝 大阪)
- ▽非暴力直接行動は無力か・中
- ▽だらしね・2 2号(だらしね舎新社 大阪) 合成洗剤を考える
- ▽リベルテール 12月号(リベルテールの会 東京)
- ▽リベロー 36号(リベロー社 京都)
- ▽ポルトガルからの手紙
- ▽アナキズム 9号(同編集委員会 千代田区神田神保町2-32 大同会館 現代思想社気付) 特集・暴力VS非暴力
- ▽LIBERO 3号(リベロー・インターナショナル 神戸中央郵便局私書箱 1065号 国際通信部)
- ▽月刊協同体 134号(日本協同体協会 栃木) ナショナルリズムを超えて
- ▽カラス 16号(カラス連合 江戸川区春 江町5-23-124 八嶋潤)
- ▽COMMUNITARY 14号(日本コミューン運動 栃木県今市市栄町208 3) SILLOISM
- ▽名前のない新聞 90号(武蔵野市御殿山 1-6-13 丸信コーポ202)
- ▽モテック通信 21号(同編集部 東京)
- ▽公害を逃すな 23-25(東京)
- ▽コミューン・ヒロバ 24号(コミューン百人委員会 大阪市東成区玉津2丁目東成 玉津郵便局留) 直販始末記
- ▽新左翼 238-239号(新左翼社 大阪)
- ▽長征 19号(徒人社 川崎市多摩区登戸 795 長谷川気付)
- ▽月刊市政研 137号(豊田市政研 豊田市) 洗剤公害法廷へ
- ▽かわら版 12月号(片桐ユズル 京都)
- ▽無政府主義運動 63号(日本アナキストクラブ 目黒区目黒本町1-10-3 女屋勘左衛門) 権力否定の精神
- ▽大道貫古今 10号(岩佐作太郎遺稿集刊 行会)
- ▽労働運動 15号(富士地区一般合同労組) 新刊書籍
- ▽虚無思想研究 上・下巻 大沢正道・編 蝸牛社
- ▽危険な言語 迫害の中のエスペラント ウルリッヒ・リンズ 岩波書店 二二〇円
- ▽アナキズムと現代

12月

大沢正道・編 三一書房

四八〇円

▽アナキスト小辞典

萩原普太郎

非売品

▽差別とアナキズム

宮崎 晃 黒色戦線社

一、六〇〇円

▽すべての囚人は政治囚である

マーチン・ソスター

リベロー社 二〇〇円

△計報▽

綿引邦農夫（七五年十二月三日）

一八九五年茨城県の農家に生まれる。父の死後、上京して印刷工となる。一九一九年には、新聞印刷工組合「正進会」の結成に参加、水沼辰夫、布留川信等とともに大正期の自由連合派労働運動の中心的な活動家として活躍。戦後、読売新聞の争議に参加、一九四六年の日本アナキスト連盟の全国委員。一九五一年には岩佐作太郎、水沼辰夫等と日本アナキストクラブを結成する。昨年五月から足に水腫ができ、脳軟化症と腎臓病を併発して、暮に入院していた。

望月桂（七五年十二月十三日）

明治二十年一月十一日長野県東筑摩郡中川手村塔ノ原にて生る。明治四十三年東京美術学校西洋画科卒。大正五年、神田猿樂町で水木屋「へちま」開業、そこで久板卯之助と知り合い売文社へ出入り、堺利彦の「新社会」の挿絵を数枚描く、渡辺政太郎、村木源一郎、和田久太郎、近藤憲二等と交際。平民美術協会創立。大杉栄、伊藤野枝と知り合う、以後密接な関係を持つ。革命芸術研究会「黒耀会」結成、同人、久板卯之助、林倭衛。大正十一年、アルス社から大杉栄、望月桂共著「漫文漫画」刊行。翌年、農村運動同盟設立、機関紙「小作人」発行。黒労社パンフ「俺達と政治」発行。黒色青年連盟発足、団体加盟。昭和十年、パレット凶案社を復活させ、黒色青年の溜場となる。昭和五十年十二月十三日逝去。八十八歳。回顧録は「思い出の記」「随筆」「落葉の私語」「記録年譜」。漫画「百姓百態」「社会漫描」「人生漫描」。

〔新刊案内〕著者自身による紹介〕

宮崎 晃 著

『差別とアナキズム

―水平社運動とアナ・ボル抗争史―

わたくしはジャーナリズムにたいしては冷視している。だからブックメーカーについては、嫌悪感をいだいている。しかし、きわめて少数だが、あるものについては、こんごと書かねばならないとかがえてゐる。本書も、そういう意味で、書かねばならぬ少数のもののひとつである。往々、研究者のある人々は、次のようにかんがえている。「水平運動においては、アナキズムの流派はなかったか、かりにあつたとしても、それは何等評価するに足りないものであろう」と。とくに最近、党派的な歴史家たちは、故意に歴史をねじまげようと、作業をすすめている。しかし、アナキズムは確乎たる存在であり、将来にむかっても最大の存在である。水平運動のなかで、アナキズムは、明白にして学ぶべききわめて多くの教訓をのこし、われわれは、それを無視することも、何等の注意をばらうことなく通りすぎることは、ぜつたいにできない。わたくしの本稿はまづしいものであるが、発掘の最初の努力として、ゆるしていただきたい。

（リベロー紙より）